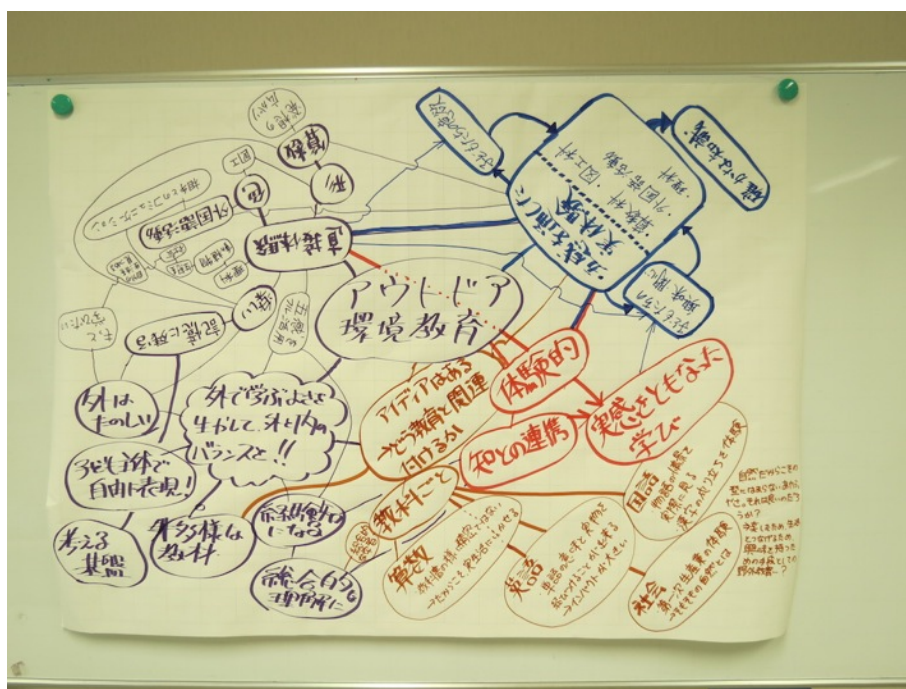


釧路市教育委員会教員研修2014 報告書
 授業実践力向上 「野外教育実践（教え方とプログラム）」



日程：2014年8月6日（水曜日）10：00-16：00

講師：山本 幹彦（NPO法人 当別エコロジカルコミュニティー代表）

主催：釧路市教育委員会

協力：一般財団法人 前田一步園財団

1 概 要

【事業名】 釧路市教育委員会教員研修

【テーマ】 授業実践力向上 「野外教育実践（教え方とプログラム）」

【概 要】 釧路市教育委員会主催になる夏休み教員研修の特設クラスとして今年初めてアウトドア環境教育をテーマに実施。小学校、中学校の先生方、また北海道教育大学釧路校の生徒合わせて16名が参加された。参加者の感想は概ね好評で、「教科と野外を結びつける取組は、おそらく始まったばかりだと思うのですが、ものすごく可能性を感じました。」「早速2学期から実践してみようと思います。」「野外で学ぶということで、子どもたちの中に残りやすくなる、生活に結びつきやすくなるということを改めて感じました。」と、アウトドア環境教育の可能性に関する感想や「理論を学ぶ午前中と実践を行う午後のバランスがよく、学んだことを体験しながら、自分に取り込むことができました。野外教育というものに対する自分の見方・考え方が深まったように思います。」「自由に意見や考えを言える雰囲気と機会の講習で参加しやすかった。」と講習会自体の進め方へのいい評価をいただき1回目の研修としては上々かなあとあります。また、「野外で活動を行う際のクラスサイズ等を考慮する必要がある。」と、解決していかなければならない課題も出てきて、これからの進め方の示唆をいただいた。今後は、このきっかけを現場で活かし、共有していく方法を考えながら、この研修だけに終わらない繋がりを作っていければと考えています。

【日 程】 2014年8月6日（水曜日）10:00-16:00

【場 所】 阿寒湖まりむ館・前田一步園財団の森

【参加者】 16名

男女比：男：9名、女：7名

【講 師】 山本 幹彦（NPO法人 当別エコロジカルコミュニティ）

【主 催】 釧路市教育委員会

【協 力】 一般財団法人 前田一步園財団

2 記録

9:30 【集合・受付】

10:00 【開校式・講師紹介】

釧路市教育委員会の齋藤主査より開講の挨拶



【講師自己紹介・オリエンテーション】

山本より自己紹介とオリエンテーション。



【お互いを知ろう・参加者自己紹介】

各自にA4用紙を配布し、下図のように4等分して、1) 今の気持ち、2) 自己紹介、3) 私の知っている野外教育、4) 野外教育を一言で、という4つの設問で各自が書き、発表した。



今の気持ち	自己紹介
私の知っている 野外教育	野外教育を 一言で

今の気分では、「ねむい」「すっきり」「楽しみ」「ワクワク」「ズキドキ」とそれぞれ、この自分の気持ちを少しでも言うことで感情的にこの場への親近感が少し増す。

私の知っている野外教育では、「キャンプ」「フィールドワーク」「火おこし」「野焼き」「宿泊体験」「生活科」「総合的な学習の時間」「自然観察」「自然体験」「登山」「自然から学ぶ」「自由な発想」「アウトドア」「レクリエーション」「外での遊び」「心理的限界を超える」と様々で、野外教育のイメージが広いんだなあと思改めて感じましたし、今回の参加者が広範なイメージを持って参加されていることと、さすが先生というか、「生活科」などの野外を使った活動がすでに行われている教科をあげておられた。

野外教育を一言でいうとでは、「体験」「自然から学ぶこと」「自然と関わる事でまなぶこと」「野外での体験を通して学ぶ教育」「感動体験」「自然へのチャレンジ」とフィールドとしての自然体験のこと、その結果もたらされるもたらされるものとして、「身体はつかれるけど、脳は楽しい」「自立・自活」「本当に強い人間を作る」「頭でっかちでなく、豊かな心を持った人間を育てる」「点から線へ、線から面へ」「開放的」「自由・開放・リラックス」「生きる力」「いろいろな意味で原点に戻る」「1を伝えて、10を学ぶ」「楽しそう」、その状態というか状況として、「きりきざまれていない世界」、また、「好きな子、苦手な子」と改めて気づかされる言葉もあった。

【小講義：アウトドア環境教育】

1 アウトドア活動の広がり

- ・スポーツやレクリエーション

アウトドアというとイコール、スポーツやレクリエーションとして理解されている。



- ・理科、体育、社会科、美術

学校教育では、理科や社会で自然や地域を直接学ぶ機会があったり、体育は走ったり、飛んだり、サッカーなどは外で行いますし、美術では写生なども教室の外で行いますね。



- ・人間関係、自然体験、エンタテインメント、芸術、食、伝統

野外教育で一般的にいわれているのは協力や信頼といった人間関係の学びと自然体験です。それに、野外でアートやミュージック、田植えや農業体験、伝統的な行事なども野外で行います。

- ・幼稚園から大学までの教育

対象も幅広いですね。社会に入ってから続きます。

- ・国語、算数、英語

ここでアウトドア環境教育としてこれから日本で提案していくのは、このような主要五教科を野外を使って教育していこうというか、教育の場として野外を使っていこうということです。

- ・海外の事例

今回紹介するスウェーデンの事例はもちろん、イギリスでも法制化されて学校教育で野外を積極的に使って行うということになっています。

- ・病院のセラピー、会社の研修

病院ではセラピーはもちろんのこと治療にも野外という自然の効果を利用されてきていますし、会社の研修でも取り入れられています。

- ・安心、安全に活動すること

リスクマネジメントをしっかりしながら行うことが重要。

- ・大切なのは教科書（テキスト）＋アウトドア体験

教科書やテキストに書かれている二次情報と直接体験して得られる一次情報の両方のバランスが大切です。

2 どうしてアウトドア体験が必要か？

- ・都市化により自然から遠ざかる

ヨーロッパでは第二次産業革命後に都市化がはじまり、日本では戦後急速に都市化が進み、人々は自然から、コミュニティから離れた暮らしを新たにスタートさせた。



- ・直接体験が減少

都会での生活では自然や人との直接体験が少なくなってしまい、物事を頭で考え、効率を優先する社会が主流となり、自己否定の傾向が顕著になってきている。

- ・環境、自然、社会

環境とは全てを取り巻くという意味があるが、その環境と環境でない境目があるという漢字2つの言葉でもある。その環境の中には自然と社会、私自身というものが含まれていると考えている。

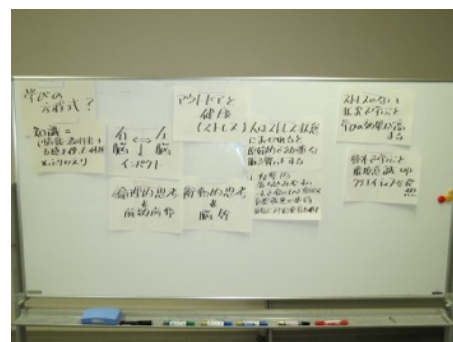
- ・内なる自然破壊、外なる自然破壊

直接的な自然体験が少なくなっていると、その自然そのものへの関心が薄れてしまい、自然がなくなっていくことに無頓着になってしまっている。

3 学びの方程式

- ・知識 = (情報・教科書 + 五感を使った体験) × ふりかえり

知識というのは二次情報である教科書などの文字になったものと直接体験して得る一次情報を今までの経験を結び付けてその人の知識というか認識として理解、学んでいくものです。



- ・右脳 + 左脳 = インパクト

教科書と五感を使った情報は脳の中では右脳と左脳の働きで処理されます。ということは、どちらか一方だけを働かせている状況とはインパクトが違うということが言える。

- ・ストレスのない状況で学ぶと学びの効果が高まる

また、野外に出かけることが室内とは違ってストレスが軽減され、時と状況によってはストレスが高まることもあり得るが、より周辺で起こっている状況を理解することができる。

- ・人はストレス状態におかれると原始的で幼稚な振る舞いをする

ストレス状態におかれた人は、脳の中では脳幹部分が非常に活発になっている状況で、そうすると幼稚で目の前のことに敏感に反応してします。

- ・倫理的思考 = 前頭前野

反対にストレスが下がると脳幹部分での働きから前頭前野が働きやすい状況が生まれ、長期的な視点で物事が考えられるようになる。

- ・野外で学ぶと環境意識がUPして、クリエイティブな発想

このようにストレスレベルを下げ、前頭前野が働きやすい状況を作ることによって、周りの環境への関心が高まり、長期的な視野で物事が捉えることになり、クリエイティブな発想につながるといわれています。

【ふりかえりとわかちあい】

近くの参加者4人から5人でグループを作り、午前中の内容について感じたことなどを共有した。



12:15 昼食

13:15 【アウトドア環境教育アクティビティの体験】

午前中の会場となっていた「まりむ館」より前田一步園の森に移動して体験実習を行った。

1 誕生日でラインナップ&グループ分け

全員が輪になって並び、言葉を使わず、ジェスチャーだけで誕生日の順番に並び、3人から4人でグループを作った。



2 野外で算数

・数を学ぼう

グループ毎にジャンボトランプを1枚引いてもらい、森の中から同じ数のものを見つけに出かける。

この数は？ 種の数、葉っぱの数、茎の数とグループで話しながら数を探していく。この活動の中でもコミュニケーション、観察等といったスキルが身につけ、数の概念が深まっていく。

全てのグループが見つめてきたものを発表した。



・図形を学ぼう

各グループに三角形、四角形、円形のカードを渡し、首からぶら下げて同じ形のものを森の中に探しにいった。



森の中でグループで相談しながら、首からぶら下げている図形と同じ形をしたものを探している。



森の中から見つけてきたものを発表。



・長さを学ぼう

各グループに1メートルの毛糸を渡す。



これは1メートルかなあ？

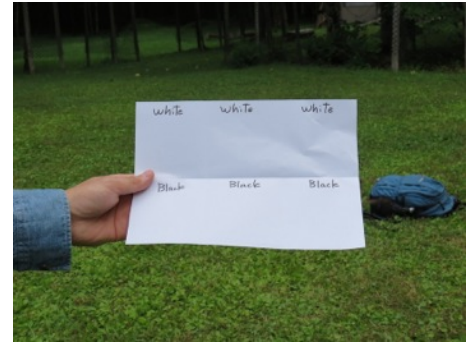


各グループが見つめてきた1メートルを発表した。



3 野外で英語

各グループにWhiteとBlackと書いた用紙（ワークシート）を渡してそれぞれの色のものを探しに森の中に出かけていった。



グループで見つけてきたものをワークシートの上に載せていく。



各グループ毎に見つけてきたものを指さしながら大きな声でWhiteとBlackと言いながら発表した。



4 ディスカッションの時間

予定した活動を終えて、その場でディスカッションを行った。英語の中学校の先生から、「これを単語だけに終わらせるのではなく、文章にしたり、グループで会話にしたり発展すると、実物が目の前にあるので発展しやすい。」というアイデアがあった。



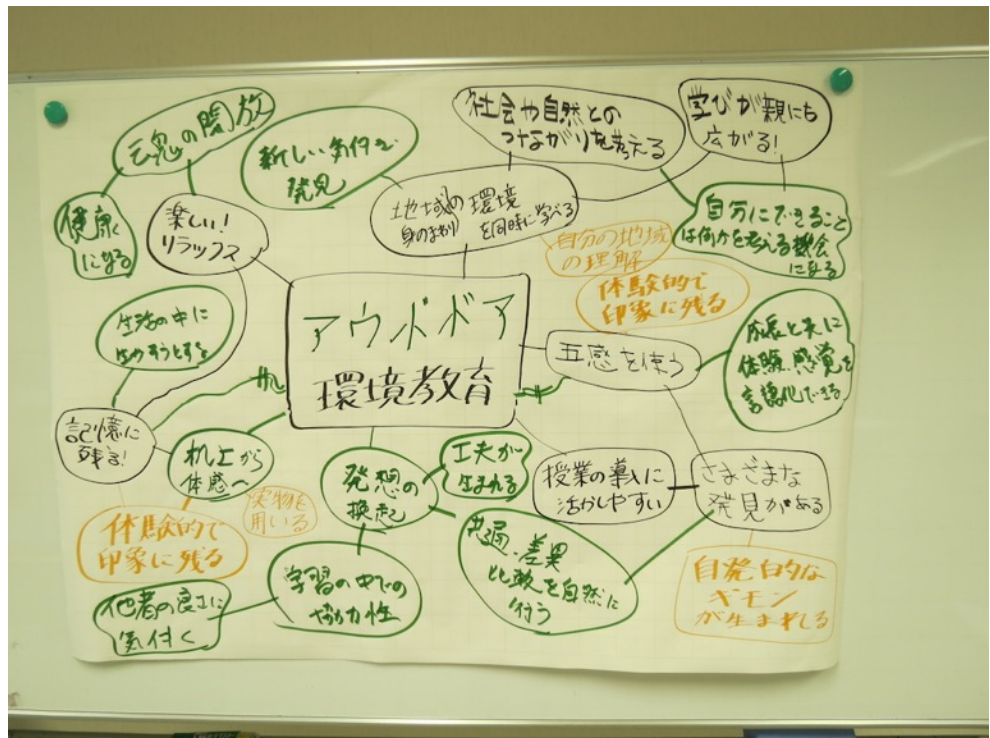
15:30 【ワークショップ】

会場を再び「まりむ館」に戻ってきて、グループに分かれて「アウトドア環境教育の可能性」というテーマでグループワークを行った。

アウトドア環境教育の可能性をテーマにグループでマインドマップ形式でアイデアを出して発表した。



【グループ1】

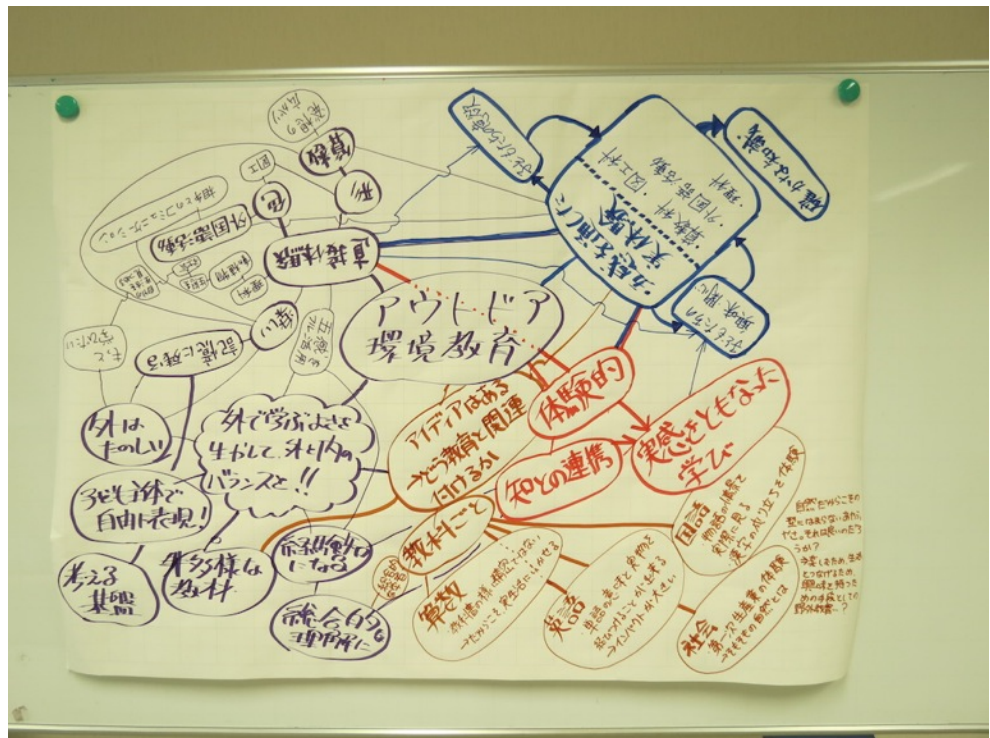


- ・発想の転換—学習の中での協力性—他者の良さに気づく—工夫が生まれる—共通・差異比較を自然に行う
- ・机上から体感へ—体験的で印象に残る—実物を用いる—記憶に残る—生活の中に活かそうとする
- ・楽しい! リラックス—魂の開放—健康になる
- ・地域の身の回りの環境を同時に学べる—社会や自然とのつながりを考える—自分に出来ることは何かを考える機会になる—自分の地域の理解
- ・五感を使う—体験的で印象に残る—成長と共に、体験、感覚を言語化できる—さまざまな発見がある—授業の導入に活かしやすい—自発的な疑問が生まれる。

このグループの発表から以下のことを考えた。

「生活の中に活かそうとする」「社会や自然とのつながりを考える」というように、学校での授業が地域の生活と結びつくことで、学びの連続性が生まれるきっかけとなる。また、「自発的な疑問が生まれる」ということは、この授業によって、これからの学びが教えられる関係性から主体的な学びに変わっていくチャンスになるかも知れない。さらに、「他者の良さに気づく」「学習の中での協力性」とグループでの学びを通してコミュニケーション能力や協力、信頼といった能力を発達させることが出来るという印象を持ってもらう事が出来た。

【グループ2】



- ・直接体験—楽しい—記憶に残る—外は楽しい—もっと学びたい—自分の生活を見つめる—相手とのコミュニケーション—形—算数—色—図工—理科—動植物—生態系—社会—発想の広がりがある—子どもたちの意欲
- ・五感を通じた実体験—確かな知識—子どもたちの興味・関心—子どもたちの意欲
- ・体験的—実感を伴った学び—知との連携
- ・アイディアはあるのでどう教育と関連づけるか—教科ごと—算数（教科書のようには精密ではない、だから実生活に活かせる）—英語（単語の意味と実物を結び付けることが出来るのでインパクトが大きい）—国語（物語の情景を実際に見る。漢字の成り立ちを体験）—社会（第一次産業の体験からそもそもの自然とは）
- ・外で学ぶ良さを生かして、外と内のバランスを—経験知になる—総合的な理解に—多様な教材—子ども主体で自由に表現—考える基盤

これから行おうとしているアウトドア環境教育の可能性に驚かされる。何よりも楽しい授業が出来そうだ。楽しいゆえにもっと学びたい、自分の生活との結びつきを持って学び続けることにつながる確かな知識が身についていく。そもそも、子どもたちの興味・関心・意欲を身につけることにつながっていく。そして、子どもの主体的で自由な表現は考える基盤だという。まさに、そのような学びの場になり得ると考えられる。しかし課題というか、私がポイントだと思うのが、「アイディアはあるのでどう教育と関連づけるか」というように、体験を学びに結び付ける工夫というか、教育手法が求められているということができる。

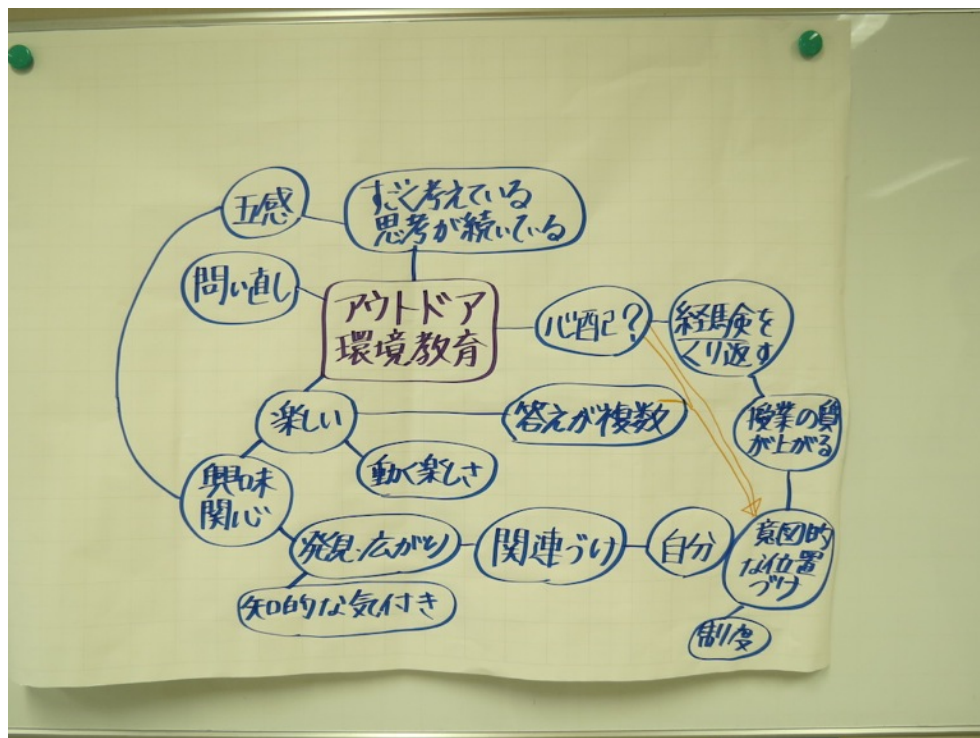
【グループ3】



- ・量感—感覚—視覚—嬉しい—残る—意外性—語彙力—あいまいさ
- ・楽しい—疲れ—心に残っているうちにふりかえる
- ・教科書から野外—野外から教科書—同じ形を探してみよう
- ・人間関係
- ・危険—段階を踏んで—覚える

量感という言葉が良いですね。嬉しい、意外性というところから学びが起こるように思います。また、新発見、自分の発見というように自分で発見したことは出来るといいますから、野外という形が主体性を引き出す可能性があるということです。また、「危険」についてはしっかりとリスクマネジメントを行わないといけないですね。でも、それほど（冬山の登山やカヌーなど）危険性は高くないので、クリアしやすいと思います。

【グループ4】



- ・ 楽しいー興味関心ー動く楽しさー答えが複数ー発見・広がりー知的な気づきー関係づけー自分
- ・ 問い直し
- ・ すごく考えている、思考が続いているー五感ー興味関心
- ・ 心配?ー経験を繰り返すー授業の質が上がるー意図的な位置づけー制度

言葉としては他の比べて少なかったのですが、「知的な気づき」は良いですね。「授業の質が上がる」「すごく考えている」「思考が続いている」と学びが変わる可能性を示唆しています。

15:50 【ふりかえりとわかちあい】

残り時間が少なく、短い時間になりましたが参加者から感想を聞いて、研修の気づきを共有した。



15:58 【閉講式】

釧路市教育委員会の齋藤主査より挨拶があった。



16:00 【終了】

3 アンケートまとめ

平成26年度

〈釧路教育研究センター〉

研修講座アンケート

研修講座名	実施日
野外教育実践（考え方とプログラム）	平成26年8月6日（水）

【講座参加状況（人）】

受講者数	アンケート回収				
	20代	30代	40代	50代	？
15	6人	5人	1人	2人	人
	40%	33%	7%	13%	%

	内 容	良	普	改	より良い改善のために
総体的にみて	教育活動・実践に生かす立場から	12	2	0	まだこの分野は手探りのところがあり、今後どのように活かしていくかが課題と思います。
	専門性を高める立場から	7	6	0	
	今後の個人研修、又は校内研修、校務分掌等に生かす立場から	12	1	0	
研修の内容・方法	講義・協議・実習・授業公開等のバランスについて	12	2	0	講義中に先生や皆さんの自己紹介が長く、カットされた内容もあり、そこも聞きたいと思いました。
	講義・発表・協議の内容について	8	4	1	
	実技・実習・演習の内容について	13	1	0	
	研修の進め方について	13	1	0	
研修の運営	研修の日程について	13	1	0	
	研修の会場について	12	2	0	
	講座の参加手続きについて	11	2	0	
その他の要望・意見・感想	<p><20代> ・本研修の内容が、修士論文の研究で取り扱いたい内容であり参加しました。教科教育の中で“もっと外へ”“机ではなく野外で”という思いがあり、どのように教科の授業の中で取り入れていくかを研究し、今後の教育活動に生かしたいと考えていました。しかし、具体的に国語のこの単元で行うといったイメージが、教員を経験していない私には組み立てることができず、そのため今は、羊の飼育を通して、様々な教科で、衣・食・住について学ぶというテーマに方向を変えました。 今日の研修でも思いましたが、各教科の導入に野外を使うことは比較的できると思いますが、まだまだ活用方法が具体的に出てきません。高学年でも使えるもの、各単元に1回は野外を使うなど、具体的な授業プランを作っていく必要性を感じました。今後も、もっともっと学びたいと思います。</p>				

その他の要望・意見・感想

・野外で学ぶということで、子どもたちの中に残りやすくなる、生活に結びつきやすくなるということを改めて感じました。私も現在、卒業論文で野外（湿原）を使って算数を学ぶことを考えているので、とても勉強になりました。

また、現職の先生方と一緒に活動や交流を行うことができ学びが深まりました。ありがとうございました。また、このような機会があれば参加したいと思います。

・もっともっと野外教育とリンクした授業実践を知りたいと思いました。実践を体験すると、時間に限りがあるため、今回のような内容で良かったと思いました。座学時にはいくつか紹介していただくと、実践時での発展にもつながるのではと思います。今回の講座は、自分の今後の活動・考え方にとても影響があるものでしたので、活かせるように努めたいと思います。ありがとうございました。

・理論を学ぶ午前中と実践を行う午後のバランスがよく、学んだことを体験しながら、自分に取り込むことができました。野外教育というものに対する自分の見方・考え方が深まったように思います。

・野外での活動で五感を使うとともに、様々な感情を伴って知識を得ることができるのだということを実感しました。また、子どもたちの生活の中で、「あれはblack!」等、繰り返し意識されることで定着も深くなると思いました。ありがとうございました。

・前回の研修の時よりも、「アウトドア環境教育」について理解を深めることができました。通常授業で行う内容を、どうやってアウトドアで行うか?というのを考えることで、「野外教育」の輪廓が見えてきたような気がしました。今後もこのテーマについて考えを深めていきたいと思いました。

<30代>

・早速2学期から実践してみようと思います。

・体験活動は子供の記憶に残ると思うので、どんどん野外に出たいと思います。今日はありがとうございました。

・最後のワークショップでの参加者の話のとおり、良い研修だったと思います。今後、野外教育を教育課程に取り入れていくためにも、課題等にもスポットを当てて研究をしていく必要があると思いました。

・自分が児童の立場で実際に体験することができ、実感をもって良さを感じられました。もう少し理論を聞けるとより嬉しかったです。

・夏休み中で参加しやすかったです。来年度も夏休み中だと嬉しいです。

・今日は一日、ありがとうございました。教科とどう野外教育が結びつくのかと思っていましたが、色々なアイデアが出されて、楽しい学習が築けると思いました。教室の中で一日中椅子に座って話を聞くよりも、多くのことを吸収できると思いました。学校の側に森がなくてもできそうなことを探してみたいと思いました。なぜ野外教育が必要なのか具体的に分かったことも良かったです。

・教科と野外を結びつける取組は、おそらく始まったばかりだと思うのですが、ものすごく可能性を感じました。特に、今日的な教育課題（体験が乏しい、じっとしてられない、協同的な学びが未熟）等を野外というフィールドがカバーしてくれる部分があるかなと思いました。ある程度のスパンで継続的に実践を取り組むことで日本式のアウトドア環境教育ができあがるのかなと思いました。

<40代>

・野外で活動を行う際のクラスサイズ等を考慮する必要がある。1回の活動が1～2時間程度であるが、効果的な振り返り活動か、学習カードを作ると良いと思います。今回は貴重な研修をありがとうございました。

<50代>

・自由に意見や考えを言える雰囲気と機会をつくっていただいた講師の先生に感謝申し上げます。若い先生方、学生の皆さんに自分の経験の一端を話すことができました

4 所感

アウトドア環境教育という聞き慣れないテーマにもかかわらず熱心な先生たちが集まった。夏休みの教員研修ということだったが、一般の方にも参加してもらえるようにしたが、一般の野外活動や環境教育に従事している方々にとっては繁忙期でもあり参加はなかったが、学生が参加してくれた。研修の方法もアウトドア環境教育をテーマにした研修が今までになく、ともかくその考え方をわかりやすく伝え、具体的な内容として算数や国語を野外を使って行うときのスウェーデンのテキストを参考に紹介した。

参加者の目的では「教科とどう野外教育が結びつくのかとと思っていた。」と聞いたことが多かったかと思われる。また、参加した学生の中には「修士論文の研究で取り扱いたい内容」といった目的もあった。終わってからの感想では、「野外で学ぶということで、子どもたちの中に残りやすくなる、生活に結びつきやすくなるということを改めて感じました。」「なぜ野外教育が必要なのが具体的に分かったことも良かったです。」「楽しい学習が築けると思いました。」「ものすごく可能性を感じました。」「今日的な教育課題（体験が乏しい、じっとしてられない、協同的な学びが未熟）等を野外というフィールドがカバーしてくれる部分があるかなと思いました。」と、アウトドア環境教育の可能性や期待がある一方、「各教科の導入に野外を使うことは比較的できると思いますが、まだまだ活用方法が具体的に出てきません。」「高学年でも使えるもの、各単元に1回は野外を使うなど、具体的な授業プランを作っていく必要性を感じました。」「もっともっと野外教育とリンクした授業実践を知りたいと思いました。」と、もう少し突っ込んで考えてみたいという前向きな感想を書かれた方もおられた。そして、「早速2学期から実践してみようと思います。」と、早く結果を聞いてみたいというように、今後一緒にやっていける先生も見つかった。また、研修の進め方について、「自分が児童の立場で実際に体験することができ、実感をもって良さを感じられました。」「現職の先生方と一緒に活動や交流を行うことができ学びが深まりました。」「自由に意見や考えを言える雰囲気と機会」と良い雰囲気を進めることが出来た。

午後からの体験では前回のアウトドア環境教育セミナーで紹介できなかった算数や英語の授業を紹介することで参加者は理解が深まり、一つひとつのアクティビティを行うごとに全員でディスカッションを行ったが、反応は良く、「学校と生活がつながる」「英語では単語だけではなく、動きがあるので文章に発展してゆきやすい。」と現場の先生ならではの活発な意見やアイデアを出し合っていた。こちらも学びの多い研修となった。

5 参加者

研修講座参加者名簿

研修講座名＝ 野外教育実践（教え方とプログラム）
 実施期日＝ 平成26年8月6日（水）

NO	氏 名	学 校 名
1	塚田 絵理奈	釧路市立釧路小学校
2	柴田 清美	釧路市立昭和小学校
3	柴田 康吉	釧路市立阿寒小学校
4	棚谷 智実	釧路市立阿寒小学校
5	宮原 美里	釧路市立阿寒小学校
6	淀野 耕太郎	釧路市立中徹別小学校
7	大野 和洋	釧路市立仁々志別小学校
8	大場 哲哉	釧路市立阿寒湖中学校
9	大河原 広	標茶町教育委員会
10	松川 誠	北海道教育大学釧路校
11	雨宮 しづ乃	北海道教育大学釧路校
12	小林 祥奈	北海道教育大学釧路校
13	阿部 晋之介	北海道教育大学釧路校
14	中村 美玖	北海道教育大学釧路校
15	西舘 慎	釧路市教育委員会
16	齊藤 崇	釧路市教育委員会
17		
18		
19		
20		

資 料

やや、ねむい
ですが、楽し
み
です。

阿寒小学校
柴田 康吉
小学校4年生の
たんぽぽです。

キャンプ、
フィールドワーク、
自然体験。

きりぎざまわっている

世界



2日間ゆくり休んで

すき気分

25才、羊好き。
アウトドアと~~遊び~~^{たび}
へは、思ったたら
とりあえず行動!

昔は"家のまわり"

体は疲れるけど

今は"キャンプetc."

脳は楽しい!

◎ 毎日がこんな
生活が続くと
いいなあ...

塚田 絵理奈、釧路小
◎ 生まれも育ちも
道東です。最近
は疲れやすく困っています。

◎ 火起こし、野焼キャンプ

◎ 自然から学ぶ
こと

◎ 前田一歩園さんの
プログラム い3い3
(森を守る)

ワクワク
楽しみ

・市教委2年目。
・入りの出合い
・新しい学び

・宿泊体験 俳句
・生活科・総合
・自然と親しむ
色々の意味を
「原点」に
戻す。

ソワソワ

阿寒小学校
6年担任

相谷智実

プロジェクト

アドベンチャー
等

野外での体験を
通して、学ぶ教育。

どんな体験ができるか
楽しみでえ

北海道教育大学
4年
阿部晋之介

キャンプ。火田
遊び

自然と関わること
から学ぶ。

ドキドキ! ワクワク!!	<ul style="list-style-type: none"> 北教大 釧路校 (野外教育) 5年目 24才 ライフセーバー
<ul style="list-style-type: none"> キャンプ 登山 	<p>自然へのチャレンジ</p> <p>フィールド ワーク</p>

懐かしい 阿寒湖畔	仁志別小 ^{9校目} 大野和洋 阿寒湖小を転出して 28年
登山 } 阿寒湖小 キャンプ } オリエンテーリング }	「生きる力」 ← ネイバル厚岸

良い 楽しみ	<ul style="list-style-type: none"> 山すその小学校 教員で、外遊1世代 淀野 耕太郎
<ul style="list-style-type: none"> キャンプ 冬の運動 自然観察 遠足 登山 	<ul style="list-style-type: none"> 知識を学ぶ 感動体験

夏休み
モード

長期間の
キャンプ

昭和小
T-T 担当
柴田清美

好きな子
苦手な子

疲ん...
やしたる...
(身体が)

?

- ・ 大場哲哉
- ・ 中学教諭 (英語)
- ・ Rugby・山・
読書・旅・Rock.

自立
自治

- ・ 己を知る
- ・ 命と命を繋ぐ
- ・ 自然との融合
天啓

ワクワク

キャンプ
登山 など

阿寒小
3年担任
宮原美里

体験

気分.

まずまず:

→ 今の天気は感じ.

自己紹介.

・ 市教委. 7年目.

・ 学校. 家庭. 地域の連携.

・ 外出が大好き.

野中

・ 自然から学ぶ.

キャンプ

言.

・ 自由な発想.

開放的.

・ f ヴィー-1192 etc.

今の気分は?

○ ちよっと暑いな. 汗かた.

○ でも楽しくなりそうな予感

自己紹介

高橋 忠一 (たかはしただい)

無職な「けこ」忙しい毎日

私の知ってる野外教育

○ 道東の冬を歩く

○ 森の中を歩く

○ キャンプ (より 野宿)

○ 木に角虫やる作業

○ マキ割り. 間伐. 木工

野外教育を一言で

○ 点より線 ^ 線より面

点: ひとつの場所/教室

線: 決められたコース

面: 自分で自由に、^いし全身を
使って.

最良

いい気分.

財団評議委員

札幌在住 (墨谷)

自然大好き.

バードウォッチング. カヌー

川. 湖. 森を利用
しての体験。

生活と密着した学び

本当に強い人間を
作る.

頭でかちでなく. 量か
心を持った人間を育て

<p>蒸し暑さかじ心地良し (開早2-201430すした厚津路)</p> <p>蒸し暑さかじ地 よい</p>	<p>教育大 30年 1冊 阿寒とかがわれるので7777 (3年内あかんのアヌコフのムと 教材肉巻でかがわると)</p> <p>阿寒とかがわれるので 7777</p>
<p>キコト 登山</p> <p>Overworld Band School</p> <p>心理的限界を 越えろと 肉体的限界を上げろ</p>	<p>自由、解放、リラックス (自分の知らない自分)</p>

<p>ドキドキ します。</p> <p>外で 遊んだり... (レクリエーション) 学んだり...</p>	<p>教育大学 金路校 4年目 小林 祥奈</p> <p>楽しそう!</p>
---	--

<p>遅れてしまって ごめんなさい...</p> <p>アウトドア? レクリエーション? まだ分からない...</p>	<p>教育大 3年目 中村 美玖</p> <p>1 伝えて 10 学べる (?)</p>
---	--

平成26年度

〈釧路教育研究センター〉

研修講座アンケート

研修講座名
野外教育実践（教え方とプログラム）

- ◆ 良・普・改のいずれかに○印をつけてください。また、「改」に○印をつけた方は、どのように改善するとより良くなるか、具体的な改善策を記述してください。
- ◆ 該当する年代を○で囲んでください。(20代・30代・40代・50代)

- * 講座によって内容が異なりますので、記入できる部分だけで結構です。
- * 研修講座終了後に提出いただきますようお願いいたします。

	内 容	良	普	改	より良い改善のために
総体的にみて	教育活動・実践に生かす立場から		○		
	専門性を高める立場から	○			
	今後の個人研修、又は校内研修、校務分掌等に生かす立場から	○			
研修の内容・方法	講義・協議・実習・授業公開等のバランスについて	○			
	講義・発表・協議の内容について	○			
	実技・実習・演習の内容について		○		
	研修の進め方について	○			
研修の運営	研修の時程について	○			
	研修の会場について	○			
	講座の参加手続きについて	○			
その他の要望・意見・感想	<p>本研修の内容が、ちょうど私が「学芸論文の研究会」で取り扱ったものと同じで、とても興味があり、参加しました。教科教育の中で「もっと外へ」「和ではなく野で」という思いがあり、具体的にどのように教科の授業の中で取り扱ってゆかというのを研究し、今後の教師生活に活かしたかったのです。具体的には、国語のこの単元でこれをするといいことか、また「教員生活でいいこと」を組み立てることができず、今は「もっと内容をしぼって、単元を通して、様々な教科で、在る在るについて学ぶ」というテーマに、学芸論文の方向を変えました。今日の研究会でも思いますが、各教科の導入に野外を使うことは比較的できますが、まだまだ「たぐさんの活用方法が具体的に出てきません」と、高学年でも使えるので、各単元に1回は野外を使うなど、具体的な授業プランを作っていくべきだと思います。今年も山本先生の動行が「気になります。もっともっと学びたいです。」</p>				

北海道教育大 釧路校 院2年目 雨宮うの ame.hayama@yahoo.co.jp

研修講座アンケート

研修講座名
野外教育実践（教え方とプログラム）

- ◆ 良・普・改のいずれかに○印をつけてください。また、「改」に○印をつけた方は、どのように改善するとより良くなるか、具体的な改善策を記述してください。
- ◆ 該当する年代を○で囲んでください。(20代・30代・40代・50代)
- * 講座によって内容が異なりますので、記入できる部分だけで結構です。
- * 研修講座終了後に提出いただきますようお願いいたします。

	内 容	良	普	改	より良い改善のために
総合的にみて	教育活動・実践に生かす立場から	○			
	専門性を高める立場から		○		
	今後の個人研修、又は校内研修、校務分掌等に生かす立場から	○			
研修の内容・方法	講義・協議・実習・授業公開等のバランスについて	○			
	講義・発表・協議の内容について		○		
	実技・実習・演習の内容について	○			
	研修の進め方について		○		
研修の運営	研修の日程について	○			
	研修の会場について	○			
	講座の参加手続きについて				
その他の要望・意見・感想	野外で学ぶということを子どもたちの中に根付かせる、生活に溶け込ませる ということを改めて感じました。私も現在、卒業論文で野外(湿原)を以て 算教を学ぶことを考えているので、とても勉強になりました。非、現職の先生と一緒に 活発な交流を行うことができて学びが深まりました。ありがとうございました。 以上のような機会があれば参加したい…と思います。				

研修講座アンケート

研修講座名
野外教育実践（教え方とプログラム）

- ◆ 良・普・改のいずれかに○印をつけてください。また、「改」に○印をつけた方は、どのように改善するとより良くなるか、具体的な改善策を記述してください。
- ◆ 該当する年代を○で囲んでください。（20代・30代・40代・50代）
- * 講座によって内容が異なりますので、記入できる部分だけで結構です。
- * 研修講座終了後に提出いただきますようお願いいたします。

	内 容	良	普	改	より良い改善のために
総体的にみて	教育活動・実践に生かす立場から	○			
	専門性を高める立場から		○		
	今後の個人研修、又は校内研修、校務分掌等に生かす立場から	○			
研修の内容・方法	講義・協議・実習・授業公開等のバランスについて	○			
	講義・発表・協議の内容について		○		
	実技・実習・演習の内容について	○			
	研修の進め方について	○			
研修の運営	研修の日程について		○		
	研修の会場について		○		
	講座の参加手続きについて		○		
その他の要望・意見・感想	もともと野外教育とリフレクティブ授業実践を知りたがったおかげで、実践と実習と体験（時間制限）が初めて。今回の内容は良かったと思います。座学時、実践例をいくつか紹介していただくと、実践での発展もしているのではと思います。今日は自分の今後の活動、参考にさせていただきますので、活動のついでにありがとうございました。				

研修講座アンケート

研修講座名
野外教育実践（教え方とプログラム）

- ◆ 良・普・改のいずれかに○印をつけてください。また、「改」に○印をつけた方は、どのように改善するとより良くなるか、具体的な改善策を記述してください。
- ◆ 該当する年代を○で囲んでください。（20代・30代・40代・50代）
- * 講座によって内容が異なりますので、記入できる部分だけで結構です。
- * 研修講座終了後に提出いただきますようお願いいたします。

	内 容	良	普	改	より良い改善のために
総体的にみて	教育活動・実践に生かす立場から	○			
	専門性を高める立場から		○		
	今後の個人研修、又は校内研修、校務分掌等に生かす立場から		○		
研修の内容・方法	講義・協議・実習・授業公開等のバランスについて	○			
	講義・発表・協議の内容について		○		
	実技・実習・演習の内容について	○			
	研修の進め方について	○			
研修の運営	研修の日程について	○			
	研修の会場について	○			
	講座の参加手続きについて	○			
その他の要望・意見・感想	理論を学ぶ午前中と実践を行う午後のバランスがよく、学んだことを体験しながら自分にとりこむことができた。野外教育というものに対する自分の見方・考え方が深まったように思います。				

研修講座アンケート

研修講座名
野外教育実践（教え方とプログラム）

- ◆ 良・普・改のいずれかに○印をつけてください。また、「改」に○印をつけた方は、どのように改善するとより良くなるか、具体的な改善策を記述してください。
- ◆ 該当する年代を○で囲んでください。（20代・30代・40代・50代）

- * 講座によって内容が異なりますので、記入できる部分だけで結構です。
- * 研修講座終了後に提出いただきますようお願いいたします。

	内 容	良	普	改	より良い改善のために
総合的にみて	教育活動・実践に生かす立場から	○			
	専門性を高める立場から		○		
	今後の個人研修、又は校内研修、校務分掌等に生かす立場から				
研修の内容・方法	講義・協議・実習・授業公開等のバランスについて	○			講義中に先生がみなさんの自己紹介が長くカットされ、内容があり、それも聞きにくいと思いました。
	講義・発表・協議の内容について			○	
	実技・実習・演習の内容について	○			
	研修の進め方について	○			
研修の運営	研修の日程について	○			
	研修の会場について	○			
	講座の参加手続きについて	○			
その他の要望・意見・感想	野外での活動で五感を使うと、様々な感情を伴って知識を得ることが出来るのだな、ということを実感しました。 また、子どもたちの生活の中で「あれは、blackの等線返し意識されることで定着もふかくなると思いました。ありがとうございます。				

研修講座アンケート

研修講座名
野外教育実践（教え方とプログラム）

- ◆ 良・普・改のいずれかに○印をつけてください。また、「改」に○印をつけた方は、どのように改善するとより良くなるか、具体的な改善策を記述してください。
- ◆ 該当する年代を○で囲んでください。（20代・30代・40代・50代）
- * 講座によって内容が異なりますので、記入できる部分だけで結構です。
- * 研修講座終了後に提出いただきますようお願いいたします。

	内 容	良	普	改	より良い改善のために
総体的にみて	教育活動・実践に生かす立場から	○			
	専門性を高める立場から		○		
	今後の個人研修、又は校内研修、校務分掌等に生かす立場から	○			
研修の内容・方法	講義・協議・実習・授業公開等のバランスについて		○		まとめる時間も欲しいと思いたか、まとめを入れて体験が少なくなるよりは入らなくても良いと思う。
	講義・発表・協議の内容について	○			
	実技・実習・演習の内容について	○			
	研修の進め方について	○			
研修の運営	研修の日程について	○			
	研修の会場について	○			
	講座の参加手続きについて	○			
その他の要望・意見・感想	前回の研修の時よりも、「アウトドア環境教育」について理解を深めることが出来た。「通常授業で行う様な内容」というアウトドアを行うか」ということを考えていき、私の中で「野外教育」のりんかくが、見えてきた様な気がする。今後そのテーマについての考えを深めていきたい。				

研修講座アンケート

研修講座名
野外教育実践（教え方とプログラム）

- ◆ 良・普・改のいずれかに○印をつけてください。また、「改」に○印をつけた方は、どのように改善するとより良くなるか、具体的な改善策を記述してください。
- ◆ 該当する年代を○で囲んでください。(20代・30代・40代・50代)
- * 講座によって内容が異なりますので、記入できる部分だけで結構です。
- * 研修講座終了後に提出いただきますようお願いいたします。

	内 容	良	普	改	より良い改善のために
総合的にみて	教育活動・実践に生かす立場から	○			
	専門性を高める立場から	○			
	今後の個人研修、又は校内研修、校務分掌等に生かす立場から	○			
研修の内容・方法	講義・協議・実習・授業公開等のバランスについて	○			
	講義・発表・協議の内容について	○			
	実技・実習・演習の内容について	○			
	研修の進め方について	○			
研修の運営	研修の時程について	○			
	研修の会場について	○			
	講座の参加手続きについて	○			
その他の要望・意見・感想	<p>・早速、2学期から実践してみようと思います。</p> <p>・体験活動は、子どもの記憶に残ると思うので、どんどん野外に出たいと思います。</p> <p>・今日はありがとうございました。</p> <p>釧路小学校 塚田 絵理奈</p>				

erina5118@yahoo.co.jp

土器も野焼きし、その火で野菜を...と思うのですが...。

研修講座アンケート

研修講座名
野外教育実践（教え方とプログラム）

- ◆ 良・普・改のいずれかに○印をつけてください。また、「改」に○印をつけた方は、どのように改善するとより良くなるか、具体的な改善策を記述してください。
- ◆ 該当する年代を○で囲んでください。（20代・30代・40代・50代）

* 講座によって内容が異なりますので、記入できる部分だけで結構です。
 * 研修講座終了後に提出いただきますようお願いいたします。

	内 容	良	普	改	より良い改善のために
総合的にみて	教育活動・実践に生かす立場から	○			
	専門性を高める立場から	○			
	今後の個人研修、又は校内研修、校務分掌等に生かす立場から	○			
研修の内容・方法	講義・協議・実習・授業公開等のバランスについて		○		
	講義・発表・協議の内容について		○		
	実技・実習・演習の内容について	○			
	研修の進め方について	○			
研修の運営	研修の日程について	○			
	研修の会場について		○		
	講座の参加手続きについて		○		
その他の要望・意見・感想	最後のワークショップでの参加者の話し合い、良い所を大切に思っています。 今後、野外教育を教育課程にどう入れるか（授業）も課題等にもスポットを当て、研究していく必要が有ると思います。				

研修講座アンケート

研修講座名
野外教育実践（教え方とプログラム）

- ◆ 良・普・改のいずれかに○印をつけてください。また、「改」に○印をつけた方は、どのように改善するとより良くなるか、具体的な改善策を記述してください。
- ◆ 該当する年代を○で囲んでください。(20代・30代・40代・50代)
- * 講座によって内容が異なりますので、記入できる部分だけで結構です。
- * 研修講座終了後に提出いただきますようお願いいたします。

	内 容	良	普	改	より良い改善のために
総体的にみて	教育活動・実践に生かす立場から	○			自分が児童の立場で実際に体験することができ、実感をもってよき感じのまじったもう少し理論(初級者向け)を聞けるとより嬉しかった。です。
	専門性を高める立場から				
	今後の個人研修、又は校内研修、校務分掌等に生かす立場から	○			
研修の内容・方法	講義・協議・実習・授業公開等のバランスについて	○			
	講義・発表・協議の内容について				
	実技・実習・演習の内容について	○			
	研修の進め方について	○			
研修の運営	研修の日程について	○			夏休み中に参加しやすいです。来年度も夏休み中だと嬉しいです。
	研修の会場について	○			
	講座の参加手続きについて	○			
その他の要望・意見・感想					

研修講座アンケート

研修講座名
野外教育実践（教え方とプログラム）

- ◆ 良・普・改のいずれかに○印をつけてください。また、「改」に○印をつけた方は、どのように改善するとより良くなるか、具体的な改善策を記述してください。
- ◆ 該当する年代を○で囲んでください。（20代・30代・40代・50代）

- * 講座によって内容が異なりますので、記入できる部分だけで結構です。
- * 研修講座終了後に提出いただきますようお願いいたします。

	内 容	良	普	改	より良い改善のために
総合的にみて	教育活動・実践に生かす立場から	○			
	専門性を高める立場から	○			
	今後の個人研修、又は校内研修、校務分掌等に生かす立場から	○			
研修の内容・方法	講義・協議・実習・授業公開等のバランスについて	○			
	講義・発表・協議の内容について	○			
	実技・実習・演習の内容について	○			
	研修の進め方について	○			
研修の運営	研修の日程について	○			
	研修の会場について	○			
	講座の参加手続きについて	○			
その他の要望・意見・感想	今日一日ありがとうございました。教科とどう野外教育が結びつのかな？と思っていましたが、いろいろなアイデアが出されて、楽しい学習が築けると思いました。教室の中で一日中、椅子に座って話を聞かなくても多くのことを吸収できると思いました。学校の側に森がないとできそうなこと探してみたいと思いました。				

なぜ野外教育が重要なかが具体的にわかったことも良かったです。

研修講座アンケート

研修講座名 野外教育実践（教え方とプログラム）

- ◆ 良・普・改のいずれかに○印をつけてください。また、「改」に○印をつけた方は、どのように改善するとより良くなるか、具体的な改善策を記述してください。
- ◆ 該当する年代を○で囲んでください。(20代・30代・40代・50代)
- * 講座によって内容が異なりますので、記入できる部分だけで結構です。
- * 研修講座終了後に提出いただきますようお願いいたします。

	内 容	良	普	改	より良い改善のために
総体的にみて	教育活動・実践に生かす立場から	○			
	専門性を高める立場から	○			
	今後の個人研修、又は校内研修、校務分掌等に生かす立場から	○			
研修の内容・方法	講義・協議・実習・授業公開等のバランスについて	○			
	講義・発表・協議の内容について	○			
	実技・実習・演習の内容について	○			
	研修の進め方について	○			
研修の運営	研修の日程について	○			
	研修の会場について	○			
	講座の参加手続きについて	○			
その他の要望・意見・感想	○教科と野外を結びつける取り組みは、(おもしろ)始まればかりだと思っておりますが、ものすごく可能性を感じました。特に、今日的な教育課題(体験が乏しい・しんどい・いやな、協同的な学習が未熟)などを野外というフィールドがカバーしてこれる部分があるのかなと思えました。 ある程度のスパンで継続的に実践と取り組むことで、日本式のアウトドア環境教育がとけあがるのかなと思えました。				

感想です

個人X-IV koukitchin@gmail.com ← おもしろいですが(笑)

研修講座アンケート

研修講座名
野外教育実践（教え方とプログラム）

- ◆ 良・普・改のいずれかに○印をつけてください。また、「改」に○印をつけた方は、どのように改善するとより良くなるか、具体的な改善策を記述してください。
- ◆ 該当する年代を○で囲んでください。（20代・30代・40代・50代）
- * 講座によって内容が異なりますので、記入できる部分だけで結構です。
- * 研修講座終了後に提出いただきますようお願いいたします。

	内 容	良	普	改	より良い改善のために
総合的にみて	教育活動・実践に生かす立場から		0		まだこの分野は経験のところがあつた、今後どのように活かしていくかが課題と思ひます。
	専門性を高める立場から		0		
	今後の個人研修、又は校内研修、校務分掌等に生かす立場から	0			
研修の内容・方法	講義・協議・実習・授業公開等のバランスについて	0			
	講義・発表・協議の内容について	0			
	実技・実習・演習の内容について	0			
	研修の進め方について	0			
研修の運営	研修の日程について	0			
	研修の会場について	0			
	講座の参加手続きについて	0			
その他の要望・意見・感想	野外活動を行う際のクラス分け等を考慮する必要がある。 一回の活動が1〜2時間程度であるか、より果敢とした振り返り活動か、学習カードを伴うと良いと思ひます。(これが課題?) 今回は貴重な研修でありましてありがとうございました。				

研修講座アンケート

研修講座名 野外教育実践（教え方とプログラム）

- ◆ 良・普・改のいずれかに○印をつけてください。また、「改」に○印をつけた方は、どのように改善するとより良くなるか、具体的な改善策を記述してください。
 - ◆ 該当する年代を○で囲んでください。(20代・30代・40代・50代)
- * 講座によって内容が異なりますので、記入できる部分だけで結構です。
* 研修講座終了後に提出いただきますようお願いいたします。

	内 容	良	普	改	より良い改善のために
総体的にみて	教育活動・実践に生かす立場から	○			
	専門性を高める立場から	○			
	今後の個人研修、又は校内研修、校務分掌等に生かす立場から	○			
研修の内容・方法	講義・協議・実習・授業公開等のバランスについて	○			
	講義・発表・協議の内容について	○			
	実技・実習・演習の内容について	○			
	研修の進め方について	○			
研修の運営	研修の日程について	○			
	研修の会場について	○			
	講座の参加手続きについて	○			
その他の要望・意見・感想	yadono-k@k7.dion.ne.jp (滝野・中徹別小)です、よろしく お願いします。				

研修講座アンケート

研修講座名
野外教育実践（教え方とプログラム）

- ◆ 良・普・改のいずれかに○印をつけてください。また、「改」に○印をつけた方は、どのように改善するとより良くなるか、具体的な改善策を記述してください。
- ◆ 該当する年代を○で囲んでください。（20代・30代・40代・50代）
- * 講座によって内容が異なりますので、記入できる部分だけで結構です。
- * 研修講座終了後に提出いただきますようお願いいたします。

	内 容	良	普	改	より良い改善のために
総体的にみて	教育活動・実践に生かす立場から	○			
	専門性を高める立場から	○			
	今後の個人研修、又は校内研修、校務分掌等に生かす立場から	○			
研修の内容・方法	講義・協議・実習・授業公開等のバランスについて	○			
	講義・発表・協議の内容について	○			
	実技・実習・演習の内容について	○			
	研修の進め方について	○			
研修の運営	研修の時程について	○			
	研修の会場について	○			
	講座の参加手続きについて	○			
その他の要望・意見・感想	自由に意見や考えを記入する機会をつくっていただき講師の先生に感謝申し上げます。若い先生方、学生の皆さんに自分の経験の一端を話すことができました。				



刈り取り作業

敷地内に設置する陽光を利用する2カ型工場。同社は地元産者が運営業者を雇った上、ミトを栽培して

佐藤広高町長と同社長、大林組の運出席した。佐藤町利活用を模索してと農業事業の話と業への資料調達ともらえ、地元へのきい」と期待感をリンエナジーはギーンについて学んでも位置づけお「できただけ地元れ、地元で愛されい」と応じた。は当初、本年度のいたが、北電が大所からの電力受けけた影響で遅れて

三角、丸形 森から探そう ■阿寒湖温泉で野外教育



探ってきた葉の形などを説明する参加者。中央は山本代表

【阿寒湖温泉】キャンプファイアやレクリエーションを楽しむ印象が強い野外教育を、算数や国語などの授業に生かすことを目的とした「野外教育実践プログラム」が6日、釧路市阿寒湖温泉の前田一歩園財団庭園などで開かれた。市内の小中学校教諭や道大釧路校学生ら約20人が参加した。

同財団が昨年、設立30周年を記念して始めた、財団の森林を教育や健康増進、研究の場に生かす「森の学校」事業の一環で、釧路市教委と初共催。NPO法人当別エコロジカルコミュニティ（石狩

管内当別町）の山本幹彦代表が、野外教育理論を講演し体験学習を行った。

山本代表は野外教育の重要性について「都市化が進んで人間は自然から遠ざかり、五感が衰退している。野外に連れ出してストレスを下げると、学びの効果が上がり、創造的な発想ができる。頭で考えたことと、体験を結びつけることが大事」と述べた。

体験学習で、参加者は山本代表の指示で、形が丸や三角の物、長さ1cmの物などを庭園の森から探し出して全員の前で説明。集めた木の葉や実、石などを授業でどう生かすかアイデアを述べ「相似形」の概念や三角形の定義を教えるのに役立つ」などの意見が出た。（村岡健一）

今年、小麦の粒が大きくなる時期に適度な雨が降ったとしても、生育は順調。刈り取り作業を進めていく。

天候回復を祈りながら、刈り取り作業を進めていく。（須藤幸恵）

◆9、10日に夏休み自由研究相談所 釧路市立博物館（春湖台）は、9、10の両日午前10時～午後3時、理科や社会に関する質問に学芸員7人が答える「夏休み自由研究相談所」を初めて開く。

昆虫や植物、鳥や魚、化石、歴史や産業など幅広いテーマに対応。考察した加藤ゆき恵学芸員は「教科書の答えを覚える勉強ではなく、自ら考えて学ぶ楽しさを知ってほしい」と話す。相談は申し込み不要で、市内の小中学生は常設展示室の入館無料。問い合わせは同博物館0154・41・5800へ。

◆9、10日に夏休み自由研究相談所 釧路市立博物館（春湖台）は、9、10の両日午前10時～午後3時、理科や社会に関する質問に学芸員7人が答える「夏休み自由研究相談所」を初めて開く。

ザンギ王決定戦 10店が味を競う あすからグルメの祭典 ザンギな釧路の名物が集結する「5地グルメの祭典 in 釧路路幣舞2014」が8、10日、釧路川沿いの幣舞河畔広場と河畔駐車場で開催される。呼び物のザンギ王決定戦では約10店が味を競う。ザンギ推進協議会の主催。「小樽あんかけ焼そば」や「オホソック北見塩やきそば」など他地域の5地グルメも6種類販売される。販売は8日が午前11時～午後9時、9日が午前10時～午後9時、10日は午後7時から男性デュオ、ヒートボイスが釧路のザンギの応援ソング「ザンギザンギ」を初披露する。入場は無料。問い合わせは同協議会080・6060・9461へ。

公開内容の予定
8月7日③～11日④
9:00～18:00 公開練習
8月12日⑤
9:00～12:00 公開練習
13:00～16:00 少年野球教室

